

新宮

河川コード	8808070657
ダムコード	30803821310000
ダム名	新宮ダム

No.	項目	単位	ダム貯水池	ダム貯水池	記入要領
1	河川コード	—	8808070657	8808070657	河川コードを記入する。
2	ダムコード	—	30803821310000	30803821310000	ダムコードを記入する。
3	ダム名	—	新宮ダム	新宮ダム	ダム名を記入する。
4	調査年月日	—	2018/4/16	2018/4/16	調査年月日を記入する
5	調査地点(採水位置)	—	基準地点	補助地点	調査地点を具体的に記入する。なお、整理票は調査年月日別に作成する。
6	調査開始時刻	—	9:10	10:55	調査の開始時刻を24時間表示で記入する。
7	天候	—	晴	晴	晴、曇、小雨等の用語で記入する。
8	気温	℃	13.4	16.8	小数点以下第1位まで記入する。
9	全水深	m	28.0	14.0	採水位置の水面より底までの深さを1 / 10mまで記入する。
10	透視度(河川)	cm			小数点以下1位まで記入し、透視度計の最大値に従い記入する。
11	透明度(ダム貯水池)	m	4.4	4.8	小数点以下1位まで記入する。
12	水色(ダム貯水池)	—	9	8	フォーレル・ウーレの水色階級で記入する。
13	貯水位	EL.m	228.28	228.28	ダム管理記録から調査時のものを記録する。
14	流量(河川)	m <sup>3</sup> /s			ダム管理記録から調査時のものを記録する。
15	流入量(ダム貯水池)	m <sup>3</sup> /s	0.86	0.86	ダム管理記録から調査時のものを記録する。
16	放流量(ダム貯水池)	m <sup>3</sup> /s	0.01	0.01	ダム管理記録から調査時のものを記録する。
17	採集方法	—	バンドーン型採水器	バンドーン型採水器	採集に使用した機器名を記入する。
18	採水量	L	2	2	採水量を記入する。
19	調査深度	—	表層	表層	調査深度を記入する。
20	採水水深	m	0.5	0.5	採水した水深を1/10mまで記入する。
21	計数方法	—	正立顕微鏡	正立顕微鏡	計数に使用した顕微鏡の種類を記入する。
22	同定者	—	湯浅久子	湯浅久子	同定者の氏名を記入する。
23	同定者所属	—	(株)エクスタン・テクニカル・センター	(株)エクスタン・テクニカル・センター	同定者の所属を記入する。
24	写真整理番号	—			様式1-1-13 動物植物プランクトン写真一覧表における整理番号を○～△で記入する。
25	標本番号	—	1	2	様式1-1-15 動物植物プランクトン標本一覧表における標本No.を記入する。
網名	種名(学名)	備考	細胞数または群体数/L	細胞数または群体数/L	
緑藻綱	Elakatothrix属		4800		水質変化現象が発生したダムでは、原因となる藻類(主に藍藻)を油浸レンズを用いた高倍率の顕微鏡にて細かくできるだけ種まで同定すること。なお、Pseudanabaena limnetica群において種の同定をする際、L-W比を用いる場合は比の値だけではなく、測定値も備考欄に記録すること。この他、形態的特徴等の備考に記録することが望ましい。
	Scenedesmus属			1200	
車軸藻綱	Mougeotia属			700	
緑藻綱-車軸藻綱	その他の緑色鞭毛藻		4200	1200	
ミドリムシ藻綱	Trachelomonas属			1200	
珪藻綱	Aulacoseira pusilla群		28000	20000	
	Lindavia属		3600	7200	
	その他の小型コアミケイソウ亜目珪藻		3000	1800	
	Asterionella formosa群		2200000	2200000	
	その他のFragilaria属(広義 単独生活種)		500000	470000	
	Ulnaria japonica		1200		
	その他のイタケイソウ科珪藻			100	
	Pinnularia-Caloneis属			200	
	Nitzschia属			2400	
黄金藻綱	Dinobryon属			4200	
	その他の黄金藻			1200	
渦鞭毛藻綱	Peridinium bipes		1200	1800	
	その他のPeridinium属		600	2400	
	その他の渦鞭毛藻類		5400		
クリプト藻綱	クリプト藻		600		
	合計		2752600	2715600	細胞数または群体数の合計を記入する。
	種類数		12	16	出現した種類数を記入する。

新宮\_植プラ

河川コード	8808070657
ダムコード	30803821310000
ダム名	新宮ダム

No.	項目	単位	ダム貯水池	記入要領
1	河川コード	-	8808070657	河川コードを記入する。
2	ダムコード	-	30803821310000	ダムコードを記入する。
3	ダム名	-	新宮ダム	ダム名を記入する。
4	調査年月日	-	2018/5/17	調査年月日を記入する
5	調査地点(採水位置)	-	基準地点	調査地点を具体的に記入する。なお、整理票は調査年月日別に作成する。
6	調査開始時刻	-	10:00	調査の開始時刻を24時間表示で記入する。
7	天候	-	晴	晴、曇、小雨等の用語で記入する。
8	気温	℃	29.0	小数点以下第1位まで記入する。
9	全水深	m	30.6	採水位置の水面より底までの深さを1 / 10mまで記入する。
10	透視度(河川)	cm		小数点以下1位まで記入し、透視度計の最大値に従い記入する。
11	透明度(ダム貯水池)	m	3.6	小数点以下1位まで記入する。
12	水色(ダム貯水池)	-	9	フォーレル・ウーレの水色階級で記入する。
13	貯水位	EL.m	231.07	ダム管理記録から調査時のものを記録する。
14	流量(河川)	m <sup>3</sup> /s		ダム管理記録から調査時のものを記録する。
15	流入量(ダム貯水池)	m <sup>3</sup> /s	2.63	ダム管理記録から調査時のものを記録する。
16	放流量(ダム貯水池)	m <sup>3</sup> /s	0.00	ダム管理記録から調査時のものを記録する。
17	採集方法	-	バンドーン型採水器	採集に使用した機器名を記入する。
18	採水量	L	2	採水量を記入する。
19	調査深度	-	表層	調査深度を記入する。
20	採水水深	m	0.5	採水した水深を1/10mまで記入する。
21	計数方法	-	正立顕微鏡	計数に使用した顕微鏡の種類を記入する。
22	同定者	-	湯浅久子	同定者の氏名を記入する。
23	同定者所属	-	(株)エクスタン・テクノカル・センター	同定者の所属を記入する。
24	写真整理番号	-		様式1-1-13 動植物プランクトン写真一覧表における整理番号を○～△で記入する。
25	標本番号	-	3	様式1-1-15 動植物プランクトン標本一覧表における標本No. を記入する。
網名	種名(学名)	備考	細胞数または群体数/L	
緑藻綱	Elakatothrix属		600	水質変化現象が発生したダムでは、原因となる藻類(主に藍藻)を油浸レンズを用いた高倍率の顕微鏡にて細かくできるだけ種まで同定すること。なお、Pseudanabaena limnetica群において種の同定をする際、L-W比を用いる場合は比の値だけではなく、測定値も備考欄に記録すること。この他、形態的特徴等の備考に記録することが望ましい。
	Asterococcus-Coenochloris-Planktosphaeria-Sphaerocystis属		1600	
ミドリムシ藻綱	Trachelomonas属		3000	
珪藻綱	Aulacoseira pusilla群		7200	
	Lindavia属		15000	
	その他の小型コアミケイソウ亜目珪藻		600	
	Ulnaria japonica		100	
黄金藻綱	Dinobryon属		5600	
渦鞭毛藻綱	Peridinium bipes		26000	
	その他のPeridinium属		4800	
		合計	64500	細胞数または群体数の合計を記入する。
		種類数	10	出現した種類数を記入する。

新宮ダム

河川コード	8808070657
ダムコード	30803821310000
ダム名	新宮ダム

No.	項目	単位	ダム貯水池	ダム貯水池	記入要領
1	河川コード	—	8808070657	8808070657	河川コードを記入する。
2	ダムコード	—	30803821310000	30803821310000	ダムコードを記入する。
3	ダム名	—	新宮ダム	新宮ダム	ダム名を記入する。
4	調査年月日	—	2018/6/5	2018/6/5	調査年月日を記入する
5	調査地点(採水位置)	—	基準地点	補助地点	調査地点を具体的に記入する。なお、整理票は調査年月日別に作成する。
6	調査開始時刻	—	10:06	11:41	調査の開始時刻を24時間表示で記入する。
7	天候	—	曇	曇	晴, 曇, 小雨等の用語で記入する。
8	気温	℃	27.1	23.8	小数点以下第1位まで記入する。
9	全水深	m	28.0	13.1	採水位置の水面より底までの深さを1 / 10mまで記入する。
10	透視度(河川)	cm			小数点以下1位まで記入し、透視度計の最大値に従い記入する。
11	透明度(ダム貯水池)	m	8.0	8.1	小数点以下1位まで記入する。
12	水色(ダム貯水池)	—	7	7	フォーレル・ウーレの水色階級で記入する。
13	貯水位	EL. m	228.82	228.82	ダム管理記録から調査時のものを記録する。
14	流量(河川)	m <sup>3</sup> /s			ダム管理記録から調査時のものを記録する。
15	流入量(ダム貯水池)	m <sup>3</sup> /s	0.79	0.79	ダム管理記録から調査時のものを記録する。
16	放流量(ダム貯水池)	m <sup>3</sup> /s	0.01	0.01	ダム管理記録から調査時のものを記録する。
17	採集方法	—	バンドーン型採水器	バンドーン型採水器	採集に使用した機器名を記入する。
18	採水量	L	2	2	採水量を記入する。
19	調査深度	—	表層	表層	調査深度を記入する。
20	採水水深	m	0.5	0.5	採水した水深を1/10mまで記入する。
21	計数方法	—	正立顕微鏡	正立顕微鏡	計数に使用した顕微鏡の種類を記入する。
22	同定者	—	湯浅久子	湯浅久子	同定者の氏名を記入する。
23	同定者所属	—	(株)エクスラン・テクノカル・センター	(株)エクスラン・テクノカル・センター	同定者の所属を記入する。
24	写真整理番号	—			様式1-1-13 動植物プランクトン写真一覧表における整理番号を○～△で記入する。
25	標本番号	—	6	7	様式1-1-15 動植物プランクトン標本一覧表における標本No. を記入する。
網名	種名(学名)	備考	細胞数または群体数/L	細胞数または群体数/L	
緑藻綱	Asterococcus-Coenochloris- Planktosphaeria-Sphaerocystis属			4800	水質変化現象が発生したダムでは、原因となる藻類(主に藍藻)を油浸レンズを用いた高倍率の顕微鏡にて細かくできるだけ種まで同定すること。なお、Pseudanabaena limnetica群において種の同定をする際、L-W比を用いる場合は比の値だけではなく、測定値も備考欄に記録すること。この他、形態的特徴等の備考に記録することが望ましい。
車軸藻綱	Staurostrum属		100		
緑藻綱-車軸藻綱	その他の緑色鞭毛藻			1200	
珪藻綱	Lindavia属			300	
	その他のFragilaria属(広義 単独生活種)		1800	5400	
	Tabellaria属			200	
	Achnanthydium属(広義)		600		
	Gomphonema属		200		
	Nitzschia属		300		
渦鞭毛藻綱	Ceratium hirundinella		100	600	
	Peridinium bipes		26000	46000	
	合計		29100	58500	細胞数または群体数の合計を記入する。
	種類数		7	7	出現した種類数を記入する。

新宮ダム

河川コード	8808070657
ダムコード	30803821310000
ダム名	新宮ダム

No.	項目	単位	ダム貯水池	記入要領
1	河川コード	—	8808070657	河川コードを記入する。
2	ダムコード	—	30803821310000	ダムコードを記入する。
3	ダム名	—	新宮ダム	ダム名を記入する。
4	調査年月日	—	2018/7/25	調査年月日を記入する
5	調査地点(採水位置)	—	基準地点	調査地点を具体的に記入する。なお、整理票は調査年月日別に作成する。
6	調査開始時刻	—	9:08	調査の開始時刻を24時間表示で記入する。
7	天候	—	快晴	晴、曇、小雨等の用語で記入する。
8	気温	℃	33.2	小数点以下第1位まで記入する。
9	全水深	m	24.0	採水位置の水面より底までの深さを1 / 10mまで記入する。
10	透視度(河川)	cm		小数点以下1位まで記入し、透視度計の最大値に従い記入する。
11	透明度(ダム貯水池)	m	3.8	小数点以下1位まで記入する。
12	水色(ダム貯水池)	—	8	フォーレル・ウーレの水色階級で記入する。
13	貯水位	EL.m	224.19	ダム管理記録から調査時のものを記録する。
14	流量(河川)	m <sup>3</sup> /s		ダム管理記録から調査時のものを記録する。
15	流入量(ダム貯水池)	m <sup>3</sup> /s	0.11	ダム管理記録から調査時のものを記録する。
16	放流量(ダム貯水池)	m <sup>3</sup> /s	0.09	ダム管理記録から調査時のものを記録する。
17	採集方法	—	バンドーン型採水器	採集に使用した機器名を記入する。
18	採水量	L	2	採水量を記入する。
19	調査深度	—	表層	調査深度を記入する。
20	採水水深	m	0.5	採水した水深を1/10mまで記入する。
21	計数方法	—	正立顕微鏡	計数に使用した顕微鏡の種類を記入する。
22	同定者	—	湯浅久子	同定者の氏名を記入する。
23	同定者所属	—	(株)エクスタン・テクノカル・センター	同定者の所属を記入する。
24	写真整理番号	—		様式1-1-13 動植物プランクトン写真一覧表における整理番号を○～△で記入する。
25	標本番号	—	8	様式1-1-15 動植物プランクトン標本一覧表における標本No. を記入する。
網名	種名(学名)	備考	細胞数または群体数/L	
緑藻綱	Kirchneriella属		1200	水質変化現象が発生したダムでは、原因となる藻類(主に藍藻)を油浸レンズを用いた高倍率の顕微鏡にて細かくできるだけ種まで同定すること。なお、Pseudanabaena limnetica群において種の同定をする際、L-W比を用いる場合は比の値だけではなく、測定値も備考欄に記録すること。この他、形態的特徴等の備考に記録することが望ましい。
	Monoraphidium属		9600	
	Scenedesmus属		4800	
	Asterococcus-Coenochloris-			
	Planktosphaeria-Sphaerocystis属		6400	
緑藻綱-車軸藻綱	その他の緑色鞭毛藻		4200	
	その他の非遊泳性緑色単細胞		36000	
珪藻綱	Aulacoseira pusilla群		18000	
	その他の小型コアミケイソウ亜目珪藻		20000	
	その他のFragilaria属(広義 単独生活種)		74000	
	Tabellaria属		600	
	Ulnaria japonica		20000	
渦鞭毛藻綱	Achnanthydium属(広義)		600	
	その他のPeridinium属		1800	
		合計	197200	細胞数または群体数の合計を記入する。
		種類数	13	出現した種類数を記入する。

新宮\_植ブ

河川コード	8808070657
ダムコード	30803821310000
ダム名	新宮ダム

No.	項目	単位	ダム貯水池	ダム貯水池	記入要領
1	河川コード	—	8808070657	8808070657	河川コードを記入する。
2	ダムコード	—	30803821310000	30803821310000	ダムコードを記入する。
3	ダム名	—	新宮ダム	新宮ダム	ダム名を記入する。
4	調査年月日	—	2018/8/7	2018/8/7	調査年月日を記入する
5	調査地点(採水位置)	—	基準地点	補助地点	調査地点を具体的に記入する。なお、整理票は調査年月日別に作成する。
6	調査開始時刻	—	9:07	11:30	調査の開始時刻を24時間表示で記入する。
7	天候	—	晴	晴	晴、曇、小雨等の用語で記入する。
8	気温	℃	32.0	31.5	小数点以下第1位まで記入する。
9	全水深	m	20.0	4.5	採水位置の水面より底までの深さを1 / 10mまで記入する。
10	透視度(河川)	cm			小数点以下1位まで記入し、透視度計の最大値に従い記入する。
11	透明度(ダム貯水池)	m	4.8	4.0	小数点以下1位まで記入する。
12	水色(ダム貯水池)	—	7	8	フォーレル・ウーレの水色階級で記入する。
13	貯水位	EL.m	219.75	219.75	ダム管理記録から調査時のものを記録する。
14	流量(河川)	m <sup>3</sup> /s			ダム管理記録から調査時のものを記録する。
15	流入量(ダム貯水池)	m <sup>3</sup> /s	0.69	0.69	ダム管理記録から調査時のものを記録する。
16	放流量(ダム貯水池)	m <sup>3</sup> /s	0.10	0.10	ダム管理記録から調査時のものを記録する。
17	採集方法	—	バンドーン型採水器	バンドーン型採水器	採集に使用した機器名を記入する。
18	採水量	L	2	2	採水量を記入する。
19	調査深度	—	表層	表層	調査深度を記入する。
20	採水水深	m	0.5	0.5	採水した水深を1/10mまで記入する。
21	計数方法	—	正立顕微鏡	正立顕微鏡	計数に使用した顕微鏡の種類を記入する。
22	同定者	—	湯浅久子	湯浅久子	同定者の氏名を記入する。
23	同定者所属	—	(株)エクスタン・テクニカル・センター	(株)エクスタン・テクニカル・センター	同定者の所属を記入する。
24	写真整理番号	—			様式I-1-13 動物植物プランクトン写真一覧表における整理番号を○～△で記入する。
25	標本番号	—	9	10	様式I-1-15 動物植物プランクトン標本一覧表における標本No. を記入する。
網名	種名(学名)	備考	細胞数または群体数/L	細胞数または群体数/L	
緑藻綱	Eudorina属			3200	水質変化現象が発生したダムでは、原因となる藻類(主に藍藻)を油浸レンズを用いた高倍率の顕微鏡にて細かくできるだけ種まで同定すること。なお、Pseudanabaena limnetica群において種の同定をする際、L-W比を用いる場合は比の値だけではなく、測定値も備考欄に記録すること。この他、形態的特徴等の備考に記録することが望ましい。
	Monoraphidium属		3600	47000	
	Oocystis属		53000	82000	
	Coelastrum属			6400	
	Scenedesmus属		14000	14000	
	Asterococcus-Coenochloris-Planktosphaeria-Sphaerocystis属		130000	250000	
車軸藻綱	Staurastrum属		200		
緑藻綱-車軸藻綱	その他の緑色鞭毛藻		3600	7800	
	その他の非遊泳性緑色単細胞		4200	3600	
珪藻綱	Aulacoseira pusilla群		37000	48000	
	その他の小型コアミケイソウ亜目珪藻		220000	440000	
	その他のFragilaria属(広義 単独生活種)		1200	200	
	Ulnaria japonica		600	300	
	Cymbella属(広義)		200		
	Gomphonema属		300	200	
	その他のハネケイソウ科珪藻		600	300	
	Nitzschia属			600	
渦鞭毛藻綱	Ceratium hirundinella		100	200	
	その他のPeridinium属		600	600	
		合計	469200	904400	細胞数または群体数の合計を記入する。
		種類数	16	17	出現した種類数を記入する。

新宮ダム

河川コード	8808070657
ダムコード	30803821310000
ダム名	新宮ダム

No.	項目	単位	ダム貯水池	記入要領
1	河川コード	—	8808070657	河川コードを記入する。
2	ダムコード	—	30803821310000	ダムコードを記入する。
3	ダム名	—	新宮ダム	ダム名を記入する。
4	調査年月日	—	2018/9/19	調査年月日を記入する
5	調査地点(採水位置)	—	基準地点	調査地点を具体的に記入する。なお、整理票は調査年月日別に作成する。
6	調査開始時刻	—	9:11	調査の開始時刻を24時間表示で記入する。
7	天候	—	晴	晴、曇、小雨等の用語で記入する。
8	気温	℃	26.6	小数点以下第1位まで記入する。
9	全水深	m	26.0	採水位置の水面より底までの深さを1/10mまで記入する。
10	透視度(河川)	cm	—	小数点以下1位まで記入し、透視度計の最大値に従い記入する。
11	透明度(ダム貯水池)	m	4.0	小数点以下1位まで記入する。
12	水色(ダム貯水池)	—	8	フォーレル・ウーレの水色階級で記入する。
13	貯水位	EL.m	227.16	ダム管理記録から調査時のものを記録する。
14	流量(河川)	m <sup>3</sup> /s	—	ダム管理記録から調査時のものを記録する。
15	流入量(ダム貯水池)	m <sup>3</sup> /s	5.16	ダム管理記録から調査時のものを記録する。
16	放流量(ダム貯水池)	m <sup>3</sup> /s	7.13	ダム管理記録から調査時のものを記録する。
17	採集方法	—	バンドーン型採水器	採集に使用した機器名を記入する。
18	採水量	L	2	採水量を記入する。
19	調査深度	—	表層	調査深度を記入する。
20	採水水深	m	0.5	採水した水深を1/10mまで記入する。
21	計数方法	—	正立顕微鏡	計数に使用した顕微鏡の種類を記入する。
22	同定者	—	湯浅久子	同定者の氏名を記入する。
23	同定者所属	—	(株)エクスラン・テクノカル・センター	同定者の所属を記入する。
24	写真整理番号	—	—	様式1-1-13 動植物プランクトン写真一覧表における整理番号を○～△で記入する。
25	標本番号	—	13	様式1-1-15 動植物プランクトン標本一覧表における標本No.を記入する。
綱名	種名(学名)	備考	細胞数または群体数/L	
緑藻綱	Monoraphidium属		7800	水質変化現象が発生したダムでは、原因となる藻類(主に藍藻)を油浸レンズを用いた高倍率の顕微鏡にて細かくできるだけ種まで同定すること。なお、Pseudanabaena limnetica群において種の同定をする際、L-W比を用いる場合は比の値だけではなく、測定値も備考欄に記録すること。この他、形態的特徴等の備考に記録することが望ましい。
	Coelastrum属		6400	
	Scenedesmus属		800	
車軸藻綱	Staurastrum属		1800	
緑藻綱-車軸藻綱	その他の緑色糸状体		1000	
珪藻綱	Aulacoseira pusilla群		38000	
	その他の小型コアミケイソウ亜目珪藻		70000	
	Asterionella formosa群		9600	
	Fragilaria crotonensis		900	
	その他のFragilaria属(広義 単独生活種)		12000	
	Ulnaria japonica		200	
	Achnanthisidium属(広義)		1200	
	その他のハネケイソウ科珪藻		600	
	Nitzschia acicularis群		4200	
	Nitzschia属		6600	
渦鞭毛藻綱	Ceratium hirundinella		600	
	Peridinium bipes		9000	
	その他のPeridinium属		2400	
クリプト藻綱	クリプト藻		600	
	合計		173700	細胞数または群体数の合計を記入する。
	種類数		19	出現した種類数を記入する。

新宮ダム

河川コード	8808070657
ダムコード	30803821310000
ダム名	新宮ダム

No.	項目	単位	ダム貯水池	ダム貯水池	記入要領
1	河川コード	—	8808070657	8808070657	河川コードを記入する。
2	ダムコード	—	30803821310000	30803821310000	ダムコードを記入する。
3	ダム名	—	新宮ダム	新宮ダム	ダム名を記入する。
4	調査年月日	—	2018/10/15	2018/10/15	調査年月日を記入する
5	調査地点(採水位置)	—	基準地点	補助地点	調査地点を具体的に記入する。なお、整理票は調査年月日別に作成する。
6	調査開始時刻	—	8:59	10:28	調査の開始時刻を24時間表示で記入する。
7	天候	—	晴	晴	晴、曇、小雨等の用語で記入する。
8	気温	℃	17.1	22.0	小数点以下第1位まで記入する。
9	全水深	m	31.0	16.5	採水位置の水面より底までの深さを1 / 10mまで記入する。
10	透視度(河川)	cm			小数点以下1位まで記入し、透視度計の最大値に従い記入する。
11	透明度(ダム貯水池)	m	1.2	1.6	小数点以下1位まで記入する。
12	水色(ダム貯水池)	—	11	10	フォーレル・ウーレの水色階級で記入する。
13	貯水位	EL.m	231.65	231.65	ダム管理記録から調査時のものを記録する。
14	流量(河川)	m <sup>3</sup> /s			ダム管理記録から調査時のものを記録する。
15	流入量(ダム貯水池)	m <sup>3</sup> /s	7.72	7.72	ダム管理記録から調査時のものを記録する。
16	放流量(ダム貯水池)	m <sup>3</sup> /s	0.00	0.00	ダム管理記録から調査時のものを記録する。
17	採集方法	—	バンドーン型採水器	バンドーン型採水器	採集に使用した機器名を記入する。
18	採水量	L	2	2	採水量を記入する。
19	調査深度	—	表層	表層	調査深度を記入する。
20	採水水深	m	0.5	0.5	採水した水深を1/10mまで記入する。
21	計数方法	—	正立顕微鏡	正立顕微鏡	計数に使用した顕微鏡の種類を記入する。
22	同定者	—	湯浅久子	湯浅久子	同定者の氏名を記入する。
23	同定者所属	—	(株)エクスラン・テクノカル・センター	(株)エクスラン・テクノカル・センター	同定者の所属を記入する。
24	写真整理番号	—			様式1-1-13 動植物プランクトン写真一覧表における整理番号を○～△で記入する。
25	標本番号	—	14	15	様式1-1-15 動植物プランクトン標本一覧表における標本No. を記入する。
網名	種名(学名)	備考	細胞数または群体数/L	細胞数または群体数/L	
緑藻綱	Elakatothrix属		400		水質変化現象が発生したダムでは、原因となる藻類(主に藍藻)を油浸レンズを用いた高倍率の顕微鏡にて細かくできるだけ種まで同定すること。なお、Pseudanabaena limnetica群において種の同定をする際、L-W比を用いる場合は比の値だけではなく、測定値も備考欄に記録すること。この他、形態的特徴等の備考に記録することが望ましい。
	Monoraphidium属		600	600	
	Coelastrum属		1600	6400	
	Scenedesmus属		1200	1200	
緑藻綱-車軸藻綱	その他の緑色鞭毛藻		110000	440000	
珪藻綱	Aulacoseira pusilla群		2200	8400	
	その他の小型コアミケイソウ亜目珪藻		2400	2400	
	Asterionella formosa群			800	
	その他のFragilaria属(広義 単独生活種)		12000	14000	
	Nitzschia acicularis群		300		
	Nitzschia属		600		
渦鞭毛藻綱	Ceratium hirundinella			100	
	Peridinium bipes		100	1800	
クリプト藻綱	クリプト藻		600		
	合計		132000	475700	細胞数または群体数の合計を記入する。
	種類数		12	10	出現した種類数を記入する。

新宮\_植ブ

河川コード	8808070657
ダムコード	30803821310000
ダム名	新宮ダム

No.	項目	単位	ダム貯水池	記入要領	
1	河川コード	—	8808070657	河川コードを記入する。	
2	ダムコード	—	30803821310000	ダムコードを記入する。	
3	ダム名	—	新宮ダム	ダム名を記入する。	
4	調査年月日	—	2018/11/6	調査年月日を記入する	
5	調査地点(採水位置)	—	基準地点	調査地点を具体的に記入する。なお、整理票は調査年月日別に作成する。	
6	調査開始時刻	—	8:57	調査の開始時刻を24時間表示で記入する。	
7	天候	—	曇	晴、曇、小雨等の用語で記入する。	
8	気温	℃	14.5	小数点以下第1位まで記入する。	
9	全水深	m	30.0	採水位置の水面より底までの深さを1 / 10mまで記入する。	
10	透視度(河川)	cm	—	小数点以下1位まで記入し、透視度計の最大値に従い記入する。	
11	透明度(ダム貯水池)	m	3.6	小数点以下1位まで記入する。	
12	水色(ダム貯水池)	—	9	フォーレル・ウーレの水色階級で記入する。	
13	貯水位	EL.m	231.23	ダム管理記録から調査時のものを記録する。	
14	流量(河川)	m <sup>3</sup> /s	—	ダム管理記録から調査時のものを記録する。	
15	流入量(ダム貯水池)	m <sup>3</sup> /s	0.00	ダム管理記録から調査時のものを記録する。	
16	放流量(ダム貯水池)	m <sup>3</sup> /s	0.00	ダム管理記録から調査時のものを記録する。	
17	採集方法	—	バンドーン型採水器	採集に使用した機器名を記入する。	
18	採水量	L	2	採水量を記入する。	
19	調査深度	—	表層	調査深度を記入する。	
20	採水水深	m	0.5	採水した水深を1/10mまで記入する。	
21	計数方法	—	正立顕微鏡	計数に使用した顕微鏡の種類を記入する。	
22	同定者	—	湯浅久子	同定者の氏名を記入する。	
23	同定者所属	—	(株)エクスラン・テクノカル・センター	同定者の所属を記入する。	
24	写真整理番号	—	—	様式1-1-13 動植物プランクトン写真一覧表における整理番号を○～△で記入する。	
25	標本番号	—	16	様式1-1-15 動植物プランクトン標本一覧表における標本No. を記入する。	
網名	種名(学名)	備考	細胞数または群体数/L		
緑藻綱	Monoraphidium属		1200	水質変化現象が発生したダムでは、原因となる藻類(主に藍藻)を油浸レンズを用いた高倍率の顕微鏡にて細かくできるだけ種まで同定すること。なお、Pseudanabaena limnetica群において種の同定をする際、L-W比を用いる場合は比の値だけではなく、測定値も備考欄に記録すること。この他、形態的特徴等の備考に記録することが望ましい。	
	Scenedesmus属		1200		
緑藻綱-車軸藻綱	その他の緑色鞭毛藻		1800		
珪藻綱	Aulacoseira pusilla群		23000		
	その他の小型コアミケイソウ亜目珪藻		600		
	Asterionella formosa群		1600		
	その他のFragilaria属(広義 単独生活種)		4800		
	Gomphonema属		600		
黄金藻綱	Dinobryon属		22000		
渦鞭毛藻綱	Peridinium bipes		1200		
	その他のPeridinium属		600		
ラフィド藻綱-ハプト藻綱	その他の鞭毛藻(ラフィド藻・ハプト藻)		300		
	合計		58900		細胞数または群体数の合計を記入する。
	種類数		12		出現した種類数を記入する。



新宮ダム

河川コード	8808070657
ダムコード	30803821310000
ダム名	新宮ダム

No.	項目	単位	ダム貯水池	ダム貯水池	記入要領
1	河川コード	—	8808070657	8808070657	河川コードを記入する。
2	ダムコード	—	30803821310000	30803821310000	ダムコードを記入する。
3	ダム名	—	新宮ダム	新宮ダム	ダム名を記入する。
4	調査年月日	—	2018/12/4	2018/12/4	調査年月日を記入する
5	調査地点(採水位置)	—	基準地点	補助地点	調査地点を具体的に記入する。なお、整理票は調査年月日別に作成する。
6	調査開始時刻	—	10:52	11:51	調査の開始時刻を24時間表示で記入する。
7	天候	—	晴	晴	晴、曇、小雨等の用語で記入する。
8	気温	℃	20.0	23.1	小数点以下第1位まで記入する。
9	全水深	m	31.2	14.0	採水位置の水面より底までの深さを1 / 10mまで記入する。
10	透視度(河川)	cm			小数点以下1位まで記入し、透視度計の最大値に従い記入する。
11	透明度(ダム貯水池)	m	5.0	5.3	小数点以下1位まで記入する。
12	水色(ダム貯水池)	—	6	6	フォーレル・ウーレの水色階級で記入する。
13	貯水位	EL. m	230.07	230.07	ダム管理記録から調査時のものを記録する。
14	流量(河川)	m <sup>3</sup> /s			ダム管理記録から調査時のものを記録する。
15	流入量(ダム貯水池)	m <sup>3</sup> /s	0.63	0.63	ダム管理記録から調査時のものを記録する。
16	放流量(ダム貯水池)	m <sup>3</sup> /s	0.00	0.00	ダム管理記録から調査時のものを記録する。
17	採集方法	—	バンドーン型採水器	バンドーン型採水器	採集に使用した機器名を記入する。
18	採水量	L	2	2	採水量を記入する。
19	調査深度	—	表層	表層	調査深度を記入する。
20	採水水深	m	0.5	0.5	採水した水深を1/10mまで記入する。
21	計数方法	—	正立顕微鏡	正立顕微鏡	計数に使用した顕微鏡の種類を記入する。
22	同定者	—	湯浅久子	湯浅久子	同定者の氏名を記入する。
23	同定者所属	—	(株)エクスラン・テクニカル・センター	(株)エクスラン・テクニカル・センター	同定者の所属を記入する。
24	写真整理番号	—			様式1-1-13 動植物プランクトン写真一覧表における整理番号を○～△で記入する。
25	標本番号	—	19	20	様式1-1-15 動植物プランクトン標本一覧表における標本No. を記入する。
網名	種名(学名)	備考	細胞数または群体数/L	細胞数または群体数/L	
緑藻綱-車軸藻綱	その他の緑色鞭毛藻			600	水質変化現象が発生したダムでは、原因となる藻類(主に藍藻)を油浸レンズを用いた高倍率の顕微鏡にて細かくできるだけ種まで同定すること。なお、Pseudanabaena limnetica群において種の同定をする際、L-W比を用いる場合は比の値だけではなく、測定値も備考欄に記録すること。この他、形態的特徴等の備考に記録することが望ましい。
	その他の非遊泳性緑色単細胞		300		
珪藻綱	Aulacoseira pusilla群		7800	20000	
	その他の小型コアミケイソウ亜目珪藻			600	
	Asterionella formosa群		400	4800	
	その他のFragilaria属(広義 単独生活種)		1800	1200	
	その他のイタケイソウ科珪藻			100	
黄金藻綱	その他のハネケイソウ科珪藻		100		
	Dinobryon属		1000	2100	
渦鞭毛藻綱	Mallomonas属		200	200	
	Peridinium bipes		300	6600	
ラフィド藻綱-ハプト藻綱	その他の鞭毛藻(ラフィド藻・ハプト藻)			300	
合計			11900	36500	細胞数または群体数の合計を記入する。
種類数			8	10	出現した種類数を記入する。

新宮ダム

河川コード	8808070657
ダムコード	30803821310000
ダム名	新宮ダム

No.	項目	単位	ダム貯水池	記入要領
1	河川コード	—	8808070657	河川コードを記入する。
2	ダムコード	—	30803821310000	ダムコードを記入する。
3	ダム名	—	新宮ダム	ダム名を記入する。
4	調査年月日	—	2019/1/8	調査年月日を記入する
5	調査地点(採水位置)	—	基準地点	調査地点を具体的に記入する。なお、整理票は調査年月日別に作成する。
6	調査開始時刻	—	11:07	調査の開始時刻を24時間表示で記入する。
7	天候	—	晴	晴、曇、小雨等の用語で記入する。
8	気温	℃	8.0	小数点以下第1位まで記入する。
9	全水深	m	25.0	採水位置の水面より底までの深さを1 / 10mまで記入する。
10	透視度(河川)	cm		小数点以下1位まで記入し、透視度計の最大値に従い記入する。
11	透明度(ダム貯水池)	m	3.8	小数点以下1位まで記入する。
12	水色(ダム貯水池)	—	9	フォーレル・ウーレの水色階級で記入する。
13	貯水位	EL.m	224.82	ダム管理記録から調査時のものを記録する。
14	流量(河川)	m <sup>3</sup> /s		ダム管理記録から調査時のものを記録する。
15	流入量(ダム貯水池)	m <sup>3</sup> /s	0.34	ダム管理記録から調査時のものを記録する。
16	放流量(ダム貯水池)	m <sup>3</sup> /s	0.00	ダム管理記録から調査時のものを記録する。
17	採集方法	—	バンドーン型採水器	採集に使用した機器名を記入する。
18	採水量	L	2	採水量を記入する。
19	調査深度	—	表層	調査深度を記入する。
20	採水水深	m	0.5	採水した水深を1/10mまで記入する。
21	計数方法	—	正立顕微鏡	計数に使用した顕微鏡の種類を記入する。
22	同定者	—	湯浅久子	同定者の氏名を記入する。
23	同定者所属	—	(株)エクスラン・テクノカル・センター	同定者の所属を記入する。
24	写真整理番号	—		様式1-1-13 動植物プランクトン写真一覧表における整理番号を○～△で記入する。
25	標本番号	—	21	様式1-1-15 動植物プランクトン標本一覧表における標本No. を記入する。
綱名	種名(学名)	備考	細胞数または群体数/L	
珪藻綱	Aulacoseira pusilla群		7800	水質変化現象が発生したダムでは、原因となる藻類(主に藍藻)を油浸レンズを用いた高倍率の顕微鏡にて細かくできるだけ種まで同定すること。なお、Pseudanabaena limnetica群において種の同定をする際、L-W比を用いる場合は比の値だけではなく、測定値も備考欄に記録すること。その他、形態的特徴等の備考に記録することが望ましい。
	Lindavia属		600	
	その他の小型コアミケイソウ亜目珪藻		300	
	Asterionella formosa群		3600	
	その他のFragilaria属(広義 単独生活種)		5400	
	Tabellaria属		400	
	Nitzschia属		600	
黄金藻綱	Mallomonas属		300	
渦鞭毛藻綱	Peridinium bipes		2400	
クリプト藻綱	クリプト藻		600	
		合計	22000	細胞数または群体数の合計を記入する。
		種類数	10	出現した種類数を記入する。

新宮ダム

河川コード	8808070657
ダムコード	30803821310000
ダム名	新宮ダム

No.	項目	単位	ダム貯水池	ダム貯水池	記入要領
1	河川コード	—	8808070657	8808070657	河川コードを記入する。
2	ダムコード	—	30803821310000	30803821310000	ダムコードを記入する。
3	ダム名	—	新宮ダム	新宮ダム	ダム名を記入する。
4	調査年月日	—	2019/2/5	2019/2/5	調査年月日を記入する
5	調査地点(採水位置)	—	基準地点	補助地点	調査地点を具体的に記入する。なお、整理票は調査年月日別に作成する。
6	調査開始時刻	—	9:10	10:15	調査の開始時刻を24時間表示で記入する。
7	天候	—	快晴	快晴	晴、曇、小雨等の用語で記入する。
8	気温	℃	5.9	8.0	小数点以下第1位まで記入する。
9	全水深	m	21.0	6.8	採水位置の水面より底までの深さを1 / 10mまで記入する。
10	透視度(河川)	cm			小数点以下1位まで記入し、透視度計の最大値に従い記入する。
11	透明度(ダム貯水池)	m	3.0	2.9	小数点以下1位まで記入する。
12	水色(ダム貯水池)	—	9	10	フォーレル・ウーレの水色階級で記入する。
13	貯水位	EL.m	220.84	220.84	ダム管理記録から調査時のものを記録する。
14	流量(河川)	m <sup>3</sup> /s			ダム管理記録から調査時のものを記録する。
15	流入量(ダム貯水池)	m <sup>3</sup> /s	0.61	0.61	ダム管理記録から調査時のものを記録する。
16	放流量(ダム貯水池)	m <sup>3</sup> /s	0.00	0.00	ダム管理記録から調査時のものを記録する。
17	採集方法	—	バンドーン型採水器	バンドーン型採水器	採集に使用した機器名を記入する。
18	採水量	L	2	2	採水量を記入する。
19	調査深度	—	表層	表層	調査深度を記入する。
20	採水水深	m	0.5	0.5	採水した水深を1/10mまで記入する。
21	計数方法	—	正立顕微鏡	正立顕微鏡	計数に使用した顕微鏡の種類を記入する。
22	同定者	—	湯浅久子	湯浅久子	同定者の氏名を記入する。
23	同定者所属	—	(株)エクスラン・テクノカル・センター	(株)エクスラン・テクノカル・センター	同定者の所属を記入する。
24	写真整理番号	—			様式1-1-13 動植物プランクトン写真一覧表における整理番号を○～△で記入する。
25	標本番号	—	22	23	様式1-1-15 動植物プランクトン標本一覧表における標本No. を記入する。
網名	種名(学名)	備考	細胞数または群体数/L	細胞数または群体数/L	
珪藻綱	Aulacoseira pusilla群		6300	2400	水質変化現象が発生したダムでは、原因となる藻類(主に藍藻)を油浸レンズを用いた高倍率の顕微鏡にて細かくできるだけ種まで同定すること。なお、Pseudanabaena limnetica群において種の同定をする際、L-W比を用いる場合は比の値だけではなく、測定値も備考欄に記録すること。この他、形態的特徴等の備考に記録することが望ましい。
	Asterionella formosa群		19000	400	
	その他のFragilaria属(広義 単独生活種)		1200	3600	
	Tabellaria属		800		
	Nitzschia acicularis群			1200	
	Nitzschia属		300	1200	
黄金藻綱	Dinobryon属		700		
渦鞭毛藻綱	Peridinium bipes		300	2400	
クリプト藻綱	クリプト藻		600	300	
		合計	29200	11500	細胞数または群体数の合計を記入する。
		種類数	8	7	出現した種類数を記入する。

新宮ダム

河川コード	8808070657
ダムコード	30803821310000
ダム名	新宮ダム

No.	項目	単位	ダム貯水池	記入要領		
1	河川コード	—	8808070657	河川コードを記入する。		
2	ダムコード	—	30803821310000	ダムコードを記入する。		
3	ダム名	—	新宮ダム	ダム名を記入する。		
4	調査年月日	—	2019/3/5	調査年月日を記入する		
5	調査地点(採水位置)	—	基準地点	調査地点を具体的に記入する。なお、整理票は調査年月日別に作成する。		
6	調査開始時刻	—	9:13	調査の開始時刻を24時間表示で記入する。		
7	天候	—	晴	晴、曇、小雨等の用語で記入する。		
8	気温	℃	7.2	小数点以下第1位まで記入する。		
9	全水深	m	18.0	採水位置の水面より底までの深さを1 / 10mまで記入する。		
10	透視度(河川)	cm		小数点以下1位まで記入し、透視度計の最大値に従い記入する。		
11	透明度(ダム貯水池)	m	2.8	小数点以下1位まで記入する。		
12	水色(ダム貯水池)	—	8	フォーレル・ウーレの水色階級で記入する。		
13	貯水位	EL.m	218.70	ダム管理記録から調査時のものを記録する。		
14	流量(河川)	m <sup>3</sup> /s		ダム管理記録から調査時のものを記録する。		
15	流入量(ダム貯水池)	m <sup>3</sup> /s	0.00	ダム管理記録から調査時のものを記録する。		
16	放流量(ダム貯水池)	m <sup>3</sup> /s	0.00	ダム管理記録から調査時のものを記録する。		
17	採集方法	—	バンドーン型採水器	採集に使用した機器名を記入する。		
18	採水量	L	2	採水量を記入する。		
19	調査深度	—	表層	調査深度を記入する。		
20	採水水深	m	0.5	採水した水深を1/10mまで記入する。		
21	計数方法	—	正立顕微鏡	計数に使用した顕微鏡の種類を記入する。		
22	同定者	—	湯浅久子	同定者の氏名を記入する。		
23	同定者所属	—	(株)エクスラン・テクノカル・センター	同定者の所属を記入する。		
24	写真整理番号	—		様式1-1-13 動植物プランクトン写真一覧表における整理番号を○～△で記入する。		
25	標本番号	—	24	様式1-1-15 動植物プランクトン標本一覧表における標本No. を記入する。		
	綱名	種名(学名)	備考	細胞数または群体数/L		
	車軸藻綱	Closterium属		100	水質変化現象が発生したダムでは、原因となる藻類(主に藍藻)を油浸レンズを用いた高倍率の顕微鏡にて細かくできるだけ種まで同定すること。なお、Pseudanabaena limnetica群において種の同定をする際、L-W比を用いる場合は比の値だけではなく、測定値も備考欄に記録すること。この他、形態的特徴等の備考に記録することが望ましい。	
	緑藻綱-車軸藻綱	その他の緑色鞭毛藻		8400		
	珪藻綱	Aulacoseira pusilla群		5400		
		Cyclotella meneghiniana		300		
		Lindavia属		4800		
		その他の小型コアミケイソウ亜目珪藻		1800		
		Asterionella formosa群		16000		
		その他のFragilaria属(広義 単独生活種)		7800		
		その他のイタケイソウ科珪藻		200		
		Nitzschia acicularis群		300		
	黄金藻綱	Dinobryon属		92000		
	渦鞭毛藻綱	Peridinium bipes		4200		
		その他のPeridinium属		1200		
		合計		142500		細胞数または群体数の合計を記入する。
		種類数		13		出現した種類数を記入する。